



大妻女子大学 国際センター 事業と実績

# 国際交流のすすめ



2021年3月 発行

# CONTENTS

はじめに	01
国際センターポリシー	02
国際センターの主な活動について	02
海外協定校・提携校一覧	03
海外研修・留学プログラム	06
短期研修	06
長期留学・交換留学	17
参加者の声（一部抜粋）	22
安全と危機管理	36
受け入れ留学生について	38
留学支援講座・国際交流イベント	41
国際センター専任教員紹介	43
留学お役立ち情報	43
国際センターインフォメーション	46

## はじめに

### 若者たちの力強い活躍に期待——国際舞台での過去・現在・未来へ

今世紀に入り、情報の急速な進化がなされ、AIの活躍する社会も現実視されている。つい、150年程前は、鎖国により諸国との交流も無く、動力も人力、馬力が主流で、電車は勿論、蒸気機関車などもなかった時代であったことが嘘のように感じられる。

教育界もまた、強力にグローバル化が推進されている。それは教育の第三の波と言ってもよい。第一波は鎖国が解かれた頃の、幕末から日本の近代化への動きと共にあり、第二波は第二次世界大戦後のアメリカを模範とした制度化。それにより結果した負に対する反省が、今の第三の波となる。つまり、小規模な藩校から近代的な学校制度へ、その後の第二次世界大戦の敗戦を機に、欧米に追い付き追い越すための知識偏重・注入型による、学士の大量生産・大量社会放出に繋がった。第三波は、知識活用型人間の育成である。インターネットの普及を経て、現在は国境を越えたボーダレスの世界となり、自由に個人が全世界に発信できる。そのため、個人の資質と能力が問われ、個の多様性が重視され、一人ひとりが自分の意見を組み立て、自分の言葉で発信し、課題解決へと共生できる力が重視されている。このような多面的評価にたえられる論理的な思考力、多彩な体験により未知の課題を解決できる知識活用型の国際人・地球市民になれるのは、若者が一番ふさわしい。丁度、明治維新とその後の文化変革を促進したのが、当時の若者たちであったことと符合する。

21世紀となった現在、時代の潮流が変わり、従来の価値観では対応しきれない局面を迎えている状況にあっては、今再び若者たちの力が時代をリードするのが、歴史の必然である。幕末の1863年に長州から五人の藩士が切腹覚悟の密航を挙行し留学した。渡英した5人は、のちの内閣の伊藤博文を含む、外交の井上馨、工学の山尾庸三など、当時20歳代の若者たちだった。それに続いた19人の薩摩藩士は、渡英時18歳の初代文部大臣の森 有礼をはじめ、13歳や14歳も含めた若者達であった。その者達は、教育・外交・文化、そしてワインやビールといった食文化にまで多彩に日本の近代化を推進した。

若い学生の皆様は、かつての若者たちのように切腹を覚悟することもなく、短時間で移動できる飛行機を使い、外国に留学し修学する環境が用意されている。くわえて、自国にあって、諸外国からの留学生とも交流することができ、150年前とは比較にならないくらい恵まれた状況下にある。こうした現代の利点を最大限生かす学生生活を過ごされることを希望し、時代を大きく転換する指導的役割を果たすよう、国際舞台で未来を切り開く国際交流活動を担っていくことを期待し、国際センターは若い皆様を心より応援し、支援致します。

大妻女子大学 国際センター所長 井上 美沙子

## 国際センターポリシー

大妻女子大学は、ディプロマ・ポリシーのなかで「グローバル化した社会において、コミュニケーション力を駆使し、自己の未来を切り開いていく能力」を身につけることを掲げている。国際センターは、ディプロマ・ポリシーに即した人材とすべく、国内外共に常に時代の変化に適応し「学び働き続ける女性」として社会のあらゆる分野に主体的に参画貢献できる自立した女性の育成を目指しています。

留学において、主体的に学ぶ習慣や、多様性を理解し様々な人と協働できるコミュニケーション能力を持った女性の育成を目指していきます。

## 国際センターの主な活動について

### ■活動概要

- ①留学生の送り出し及び受け入れに関すること
- ②外国人留学生と本学学生との交流推進に関すること
- ③留学生送り出し、受け入れにともなう外国語（日本語を含む）の教育・学習に関すること
- ④留学生の危機管理に関すること
- ⑤その他、国際交流に関すること

### ■留学への送り出し

- ①留学事前・事後の学習として異文化理解講座、国内留学体験講座等を開設しています。
- ②帰国後に留学の成果を生かしキャリア形成につなげるための特別講座や、更なる国際理解推進をはかるためのイベントを開催しています。
- ③危機管理に関する学習プログラムとして「危機管理オリエンテーション」を開催するとともに、日常的な危機管理体制を維持・運用しています。

### ■外国人留学生の受け入れ

- ①「読解」「聴解」「文章表現」「口頭表現」「総合」「日本語能力試験対策」などの日本語教育プログラムを開設しています。
- ②日本文化に関する学習の一環として、「映画から見る日本文化」「日本の漫画とその文化」「日本語と日本の文化」「日本の文学（近・現代）」「日本の家政学」などの講座を開設しています。また、学内・外の様々な施設を訪問したり、各種イベントに参加するプログラムも用意されています。
- ③本学で学ぶ留学生の奨学金や学生納付金減免手続きを行っています。



## 海外協定校・提携校一覧

国	大学	特徴
アメリカ	セント・ジョセフ大学	1932年に創立された学生総数約1,500名の女子大学。先進的・先導的な幼児教育・特別支援教育が行われています。
	マレー州立大学	1922年に創立された州立大学。人口2万人のケンタッキー州マレー市に位置し、留学生を含むおよそ1万人の学生が学んでいます。
	ユタ大学	1850年に創立された州立大学。ミシシッピ以西でできた初期の大学。キャンパスは、ユタ州の州都ソルトレークシティに位置しています。
	カリフォルニア大学リバーサイド校	1954年創立。カリフォルニア大学群のうちの一校。メインキャンパスはカリフォルニア州リバーサイドにあります。
	カリフォルニア州立大学チコ校	1887年創立。カリフォルニア州立大学機構のうちの一つで、同州チコに立地する州立大学。チコ校の学生数は約14,000人で、キャンパスには近代的なビルが立ち並びます。
	ニューヨーク市立大学	1847年創立。アメリカで最も歴史ある公立大学群のひとつ。120カ国以上の留学生在籍するニューヨーク市立大学クィーンズ・カレッジでは人文科学系の教育が有名です。
	ポートランド州立大学	1946年創立。オレゴン州では唯一主要都市部に位置する州立大学で、市内に広大なキャンパスを持つオレゴン州最大の大学。学生は約25,000名以上で、特に経営学、教育学、理工学の研究領域が有名です。
	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校	1957年創立。約1100エーカーの広大で美しいキャンパスに学部生18,000人、大学院生9,000人、世界100カ国以上の留学生在籍しています。
カナダ	ダグラスカレッジ	1970年創立。英語研修プログラムを履修した後、所定の英語力が認定されると、カナダ人学生と共に学ぶアカデミックプログラムを履修できます。
	ブリティッシュ・コロンビア大学	1908年創立。学生総数約5万人のカナダ西部最大の研究総合大学。夏期語学研修では英語学習のほか、ホームステイを通しカナダ社会への理解を深めます。
	ヨーク大学	1959年創立。トロントにあるカナダで3番目に学生数が多い総合大学。カナダ最大規模の広さを誇るキャンパスを持ち、世界150カ国以上から留学生を受け入れています。
	フレーザー・バレー大学	1974年創立。幅広い科目を持つ専門プログラムやキャリアプログラム、ESL(第二外国語としての英語)プログラムを持ち、約14,000人もの学生と世界50カ国からの留学生1,000人が学んでいます。
中国	北京師範大学	1902年創立。国際交流に力を入れ、50以上の国から集まった2,000人余りの留学生在籍しながら学んでいます。
	南開大学	中国トップクラスの総合大学で、中国語コミュニケーションの能力を高めます。
	雲南大学	1922年創立。西部エリアでは、特に古い歴史を誇る大学です。
	大連外国語大学	1964年創立の外国語大学。日本語教育においては中国国内ではトップクラスです。
	山東女子学院	前身は1952年設立の「山東婦女幹部学校」。日本語学科などを含む外国語学部、教育学、芸術学、観光学などの学部で、約15,000人が学んでいます。
台湾	国立台北教育大学	台湾を代表する国立の教育大学です。教育大学ならではのカリキュラムや指導方法で、効果的に中国語を学ぶことができます。
	国立台湾師範大学	台湾で最も歴史のある中国語教育機関。語学の授業や校外実習が充実しており、日本語のできるスタッフが常駐しています。
	国立台湾大学	1945年に設立された台湾一大きな国立大学です。台湾で最も権威のある大学として有名です。6つのキャンパス、11学部、54学科を設け、3万人以上の学生が通っています。
韓国	国民大学校	1946年創立。ソウル市に設立された人文学部・社会科学部・法学部・経営学部・工学部・自然科学部など16学部をはじめ大学院14研究科、約2万人の学生が在学している総合大学で、交換留学生も毎年100名以上受け入れています。

韓国	梨花女子大校	1886年に米国の宣教師メアリー・スクラントンによって創設された韓国最初の女子大学。2万人を超える学生を有し、女子大学としては世界最大規模です。
	明知大校	1948年に創立された韓国の名門キリスト教私立大学です。約30カ国450人余りの外国人学生が、韓国人の学生と一緒に勉強しています。
	崇実大校	1897年設立のミッションスクール系私立大学で、2017年には開校120周年を迎えました。日本の多くの大学と協定を結んでいます。
	仁荷大校	1954年設立。仁川広域市に本部を置く私立大学で、2017年の韓国大学ランキングで全国8位の上位校です。日本の多くの大学と協定を結んでいます。
マレーシア	アジア・パシフィック大学	1993年創立のマレーシアの名門大学で、主にIT産業人材を育成しています。約120カ国から集まった留学生とともに英語を学びながら、マレーシアならではの多文化共生社会を体験することができます。
	サンウェイ大学	マレーシアを代表する企業財団のサンウェイグループが運営する1987年創立の総合私立大学です。学生数は約12,000人で、90カ国以上3,000人の留学生が学ぶ国際色豊かな学校となっています。
オーストラリア	ディーキン大学	1974年創立。メルボルンにあるメインキャンパスは活気ある都市型キャンパスで、30,000人以上の学生が学んでいます。
	モナシュ大学	1958年創立の州立大学。ビクトリア州内に5つのキャンパス（メルボルン市内及び郊外）と2つの海外キャンパス（南アフリカ、マレーシア）を持つ国際色豊かな総合大学です。
	マッコーリー大学	1964年創立。シドニー郊外に位置し、40,000人を超える学生のうち留学生が20%を占めます。キャンパス内にはオーストラリア最大規模のIELTSテストセンターがあります。
ニュージーランド	オークランド工科大学	ニュージーランド最大の都市オークランドにある同国最大規模の大学です。留学生の受け入れに積極的で、ニュージーランド内で1位にランクインしています。
イギリス	オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ	1282年に設立されたイギリス最古の大学であるオックスフォード大学の構成カレッジの一つ。世界各国から留学生が集まる名門校です。
	ロンドン大学	名門ロンドン大学の英語教育機関が実施している伝統ある英語音声学の講座に参加するプログラムです。
	スターリング大学	1967年創立の国立大学。14,000人以上の学部生・院生を有し、留学生も120カ国以上、約2,800人が学ぶ。広大なキャンパスは「英国で最も美しいキャンパス」と呼ばれています。
ドイツ	フライブルク大学	1457年創立。ドイツでも最も古い大学の一つ。ドイツ語初心者のために開設されるサマープログラムを受講し、ドイツ語とドイツ文化を学びます。
	ミュンスター大学	18世紀に創立されたミュンスター大学の附属機関でドイツ語とドイツ文化を学びます。8～12月の長期研修では、ホームステイで現地の生活が体験できます。
フランス	レンヌ 第2大学	レンヌ大学（1735年設立）から第1・第2に分割される形で1969年に設立された歴史ある国立大学。夏期語学研修では、大学付属のフランス語教育センターで行われる「フランス語と文化コース」に参加し、フランス語の授業を受けます。
スペイン	サン・ホルヘ大学	ユネスコ世界遺産であるクエンカ市とサン・ホルヘ大学が提携する「ほんもののスペイン体験」というプログラムでスペイン語とスペイン文化を学びます。
イタリア	バルージャ外国人大学	イタリア語とイタリア文化を学ぶ留学生のための大学として1920年に設立されました。現在は学位取得コースで学ぶイタリア人学生も加わって、世界中の学生たちが国境を超えたキャンパスライフを楽しんでいます。



オックスフォード大学ハートフォードカレッジ(イギリス)



ブリティッシュ・コロンビア大学 (カナダ)



明知大学校 (韓国)



ディーキン大学 (オーストラリア)

## 海外研修・留学プログラム

### 短期研修

#### 《短期語学・文化研修》

短期語学・文化研修は夏季休業期間や春季休業期間を利用して実施される1ヶ月前後の研修で、アメリカ、カナダ、オーストラリア、中国、台湾、韓国、マレーシア、イギリス、ドイツ、フランス、イタリアなどの大学キャンパス内での語学研修や文化体験を主目的としたプログラムです。滞在方法は大学の寮やホームステイなどから選ぶことができます。

1学期間や1年間といった長期留学への参加が難しい学生や、長期留学の事前準備として参加するケースも多く見られます。

研修後、必要な手続きを行うことにより卒業要件の単位に認定されます。

#### ■短期語学・文化研修実施校

国	名称	対象	問い合わせ先	実施期間(約)	時期	滞在先	
アメリカ	カリフォルニア州立大学チコ校ALCI	全学	国際センター (国際交流支援グループ)	4週間	2月～3月	ホームステイ	
	ポートランド州立大学IELP			3週間	8月～9月	寮	
	ニューヨーク州立大学ストーブルック校IEC			2週間または3週間	8月	寮	
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学ELI			3週間	8月	ホームステイ	
	ヨーク大学ELI			3週間	8月～9月	寮	
オーストラリア	ディーキン大学ELI			4週間	2月～3月	ホテル	
	モナシュ大学ELC			3週間	8月～9月	ホームステイ	
中国	北京師範大学 漢語文化学院			5週間	2月～3月	ホームステイ	
台湾	国立台湾師範大学 国語教学センター			2週間または3週間	8月、3月	寮	
韓国	梨花女子大学 言語教育院			3週間	3月	寮	
マレーシア	アジア・パシフィック大学LC			3週間	3月	ホテル	
ドイツ	フライブルク大学SLI			4週間	2月～3月	寮	
フランス	レンヌ第2大学 CIREFE			4週間	8月	寮、共同住宅	
イタリア	ペルージャ外国人大学(文化研修)			4週間	8月～9月	ホームステイ	
イギリス	オックスフォード大学ハートフォードカレッジIPD			2週間	8月～9月	寮	
	スターリング大学IELS			3週間	8月～9月	寮	
	ロンドン大学 英語音声学セミナー			7週間	2月～3月	寮	
マレーシア	サンウェイ大学			文学部英語英文学科	18日間	8月	寮
ギリシャ	ヨーロッパ文化研修			人間関係学部	3週間	8月～9月	寮
スペイン	サン・ホルヘ大学			比較文化学部	10日間	2月～3月(隔年実施)	ホテル
		2週間または3週間	8月～9月		ホームステイ		



■短期語学・文化研修参加者数

2020年度

新型コロナウイルス感染症拡大のため春期オンライン語学研修のみ実施

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	ディーキン大学ELI	2	2	2	3	4	1	14
	マルタ大学LS	1	7	2	1	3	2	16

2019年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	カリフォルニア州立大学チコ校ALCI	0	1	1	0	0	0	2
	ポートランド州立大学IELP	1	3	1	2	1	1	9
	ブリティッシュ・コロンビア大学ELI	0	1	1	0	0	0	2
	ヨーク大学ELI	2	3	4	1	0	1	11
	ディーキン大学ELI	1	1	0	0	1	0	3
	モナシュ大学ELC	0	1	1	3	3	1	9
	国立台湾師範大学国語教学センター	0	0	0	0	2	0	2
	アジア・パシフィック大学LC	1	0	1	0	0	0	2
	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	2	4	0	4	5	3	18
	スターリング大学ELP	1	4	0	1	2	0	8
	フライブルク大学SLI	0	1	0	0	1	0	2
	レンヌ第2大学CIREE	0	1	0	0	1	0	2
	イタリア文化研修	3	1	0	0	1	0	5
比較文化学部	サン・ホルヘ大学	-	-	-	-	4	-	4

2018年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	カリフォルニア州立大学チコ校ALCI	0	1	0	0	2	0	3
	ブリティッシュ・コロンビア大学ELI	1	3	1	2	5	0	12
	ディーキン大学ELI	1	3	0	0	0	0	4
	モナシュ大学ELC	0	2	0	0	0	1	3
	国立台湾師範大学国語教学センター	0	1	0	0	4	0	5
	梨花女子大学校言語教育院	3	2	1	0	5	0	11
	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	0	3	3	2	5	2	15
	スターリング大学ELP	0	2	0	0	0	0	2
	フライブルク大学SLI	0	0	0	0	1	0	1
	レンヌ第2大学CIREE	1	0	0	0	1	0	2
文学部英文学科	ロンドン大学英語音声学セミナー	-	4	-	-	-	-	4
比較文化学部	サン・ホルヘ大学	-	-	-	-	8	-	8
	ヨーロッパ文化研修	-	-	-	-	14	-	14



ポートランド州立大学 (アメリカ)



オックスフォード大学ハートフォードカレッジ  
(イギリス)



ヨーク大学 (カナダ)



ペルージャ外国人大学 (イタリア)



梨花女子大学校 (韓国)



## 《紹介プログラム》

国際センターでは、語学や文化の研修だけでなく、海外ボランティアや、東南アジア各国での「体験・課題解決型」プログラム、そして航空会社への就職を希望する学生向けに、オーストラリア・カンタス航空が実施するキャビンクルー・グランドスタッフ訓練を体験するプログラムなども紹介しています。

短期語学・文化研修と同じく、夏季休業期間や春季休業期間を利用して実施される1ヶ月前後の研修で、研修後、必要な手続きを行うことにより卒業要件の単位に認定されるものもあります。

名称	対象	問い合わせ先	実施期間(約)	時期	滞在先
JSAF主催ACEJ短期語学研修 (大学キャンパス語学研修)	全学	JSAF・国際センター (国際交流支援グループ)	2～5週間	8月～9月、 2月～3月	ホームステイ
※CIEE主催海外ボランティア (アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド推奨)		CIEE・国際センター (国際交流支援グループ)	2～4週間	8月～9月、 2月～3月	ホームステイ
エステーエートラベル主催ウエスタンシドニー大学 英語+キャビンクルー・グランドスタッフトレーニングプログラム		エステーエートラベル・国際センター (国際交流支援グループ)	3週間	8月～9月、 2月～3月	ホームステイ
早稲田大学アカデミックソリューション主催 海外フィールドスタディ(課題設定型)プログラム (タイ、ブルネイ、カンボジア、マレーシア、ベトナム、フィリピン)		早稲田大学アカデミックソリューション・国際センター (国際交流支援グループ)	2週間	8月～9月、 2月～3月	ホテル、 ホームステイ

※2021年度以降は実施しません。

## 〈JSAF主催 ACEJ短期語学研修〉

JSAF(一般財団法人 日本スタディ・アブロード・ファンデーション)の姉妹団体ACEJが主催する大学キャンパス語学研修です。

### ■プログラムの特徴

- ◇ 世界の名門大学のキャンパスで2～5週間学ぶプログラムです。参加者は原則として留学先大学より語学研修生として受け入れられ、大学キャンパスまたは大学付属施設内で授業を受けることができます。さらに、図書館やカフェテリア等の大学施設が利用でき、海外大学の雰囲気を経験することができます。
- ◇ ACEJによる無料個別カウンセリング、出発準備から帰国までの手厚いサポートが受けられます。

### ■大学キャンパス語学研修大学一覧(2019年度)

アメリカ：ワシントン大学、シアトルパシフィック大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、ハワイ大学マノア校

カナダ：プリティッシュ・コロンビア大学、トロント大学

イギリス：ロンドン芸術大学

アイルランド：グリフィスカレッジ

オーストラリア：ニューサウスウェールズ大学、西オーストラリア大学、クィーンズランド大学

ニュージーランド：オークランド大学

マルタ：マルタ大学



## ■JSAF主催 ACEJ短期語学研修参加者数

2020年度

新型コロナウイルス感染症拡大のため、催行されませんでした。

2019年度

プログラム名		所属別参加者数						合計
		家	文	社	人	比	短	
ワシントン大学 (アメリカ)	春期	1	0	0	0	0	0	1
シアトルパシフィック大学 (アメリカ)	夏期	1	1	0	0	0	0	2
カリフォルニア大学サンディエゴ (アメリカ)	春期	0	3	1	0	0	0	4
ハワイ大学マノア (アメリカ)	春期	0	2	0	0	0	0	2
トロント大学 (カナダ)	春期	0	0	0	2	1	0	3
ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア)	春期	0	1	0	0	0	0	1
西オーストラリア大学 (オーストラリア)	春期	0	1	0	0	0	0	1
クイーンズランド大学 (オーストラリア)	春期	0	0	1	0	0	0	1
オークランド大学 (ニュージーランド)	春期	1	0	0	0	0	0	1
マルタ大学 (マルタ)	夏期	1	0	0	0	0	0	1
	春期	0	2	0	0	1	0	3
合計	夏期	2	1	0	0	0	0	3
	春期	2	9	2	2	2	0	17

2018年度

プログラム名		所属別参加者数						合計
		家	文	社	人	比	短	
ワシントン大学 (アメリカ)	夏期	0	3	0	1	0	0	4
	春期	0	1	0	0	3	0	4
シアトルパシフィック大学 (アメリカ)	夏期	0	2	0	0	0	0	2
カリフォルニア大学サンディエゴ (アメリカ)	春期	0	9	0	0	0	0	9
ハワイ大学マノア (アメリカ)	春期	0	1	0	0	0	0	1
ブリティッシュ・コロンビア大学 (カナダ)	春期	0	1	0	0	0	0	1
トロント大学 (カナダ)	夏期	0	1	0	0	1	0	2
	春期	0	6	0	0	0	0	6
ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア)	春期	0	0	1	0	0	0	1
西オーストラリア大学 (オーストラリア)	春期	0	1	0	0	0	0	1
クイーンズランド大学 (オーストラリア)	春期	0	0	0	0	1	0	1
オークランド大学 (ニュージーランド)	夏期	0	0	1	0	2	0	3
グリフィスカレッジ (アイルランド)	夏期	0	1	0	0	2	0	3
	春期	0	1	1	1	1	0	4
ロンドン芸術大学 (イギリス)	春期	0	0	0	0	1	0	1
合計	夏期	0	7	1	1	5	0	14
	春期	0	20	2	1	6	0	29

## カリフォルニア大学サンディエゴ



## マルタ大学



### 〈CIEE主催 海外ボランティア〉

一般社団法人 CIEE国際教育交換協議会が主催する国際交流プログラムです。ボランティア活動を通じて社会や人々に貢献することができます。

※2021年度以降は実施しません。

### ■プログラムの特徴

#### オーストラリア・ニュージーランド

・チャイルドケア：園児のケアや交流を通じて日本とは異なる幼児教育の現場を体験

#### カナダ

・環境保護：自然保護区や公園などでの環境保護活動

・アニマルケア：動物保護施設やファームで檻の清掃やエサやりなどのアシスタント

・地域サポート：フードバンク（低所得者支援施設）やリサイクルショップなどでのアシスタント

#### アメリカ

・教師アシスタント：現地の小学校で英語での授業サポートと教師体験

※上記プログラムはすべてホームステイです。

### ■CIEE主催 海外ボランティア参加者数

#### 2020年度

新型コロナウイルス感染症拡大のため、催行されませんでした。

#### 2019年度

国・地域	プログラム	時期	家	文	社	人	比	短	小計
アメリカ	教師アシスタント	春期	1	0	0	0	0	0	1
カナダ	地域サポート	夏期	0	0	1	0	0	0	1
		春期	0	0	1	0	0	0	1
	環境保護	夏期	0	0	1	0	0	0	1
	アニマルケア（動物NPO支援）	春期	0	0	0	1	0	0	1
オーストラリア	チャイルドケア	夏期	1	0	0	0	0	0	1
		春期	0	0	1	0	0	0	1
合計		夏期	1	0	2	0	0	0	3
		春期	1	0	2	1	0	0	4

#### 2018年度

国・地域	プログラム	時期	家	文	社	人	比	短	小計
アメリカ	教師アシスタント	春期	1	0	0	0	0	0	1
カナダ	地域サポート	夏期	0	1	0	0	0	0	1
		夏期	0	0	0	0	1	0	1
	アニマルケア（動物NPO支援）	春期	0	0	0	0	1	0	1
オーストラリア	チャイルドケア	夏期	0	0	0	2	0	0	2
		春期	0	2	0	0	1	0	3
ニュージーランド	チャイルドケア	夏期	1	0	0	0	0	0	1
		春期	1	0	0	0	0	0	1
合計		夏期	1	1	0	2	1	0	5
		春期	2	2	0	0	2	0	6

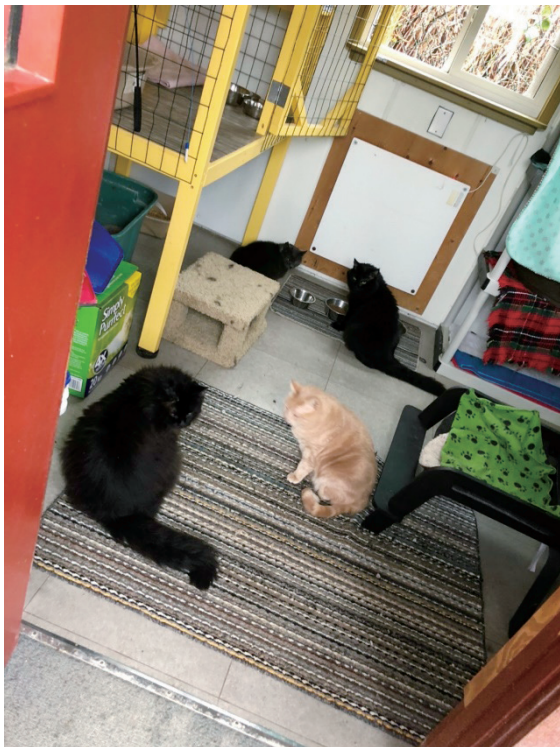




地域サポート、環境保護、アニマルケア（カナダ）



教師アシスタント（アメリカ）



アニマルケア（カナダ）



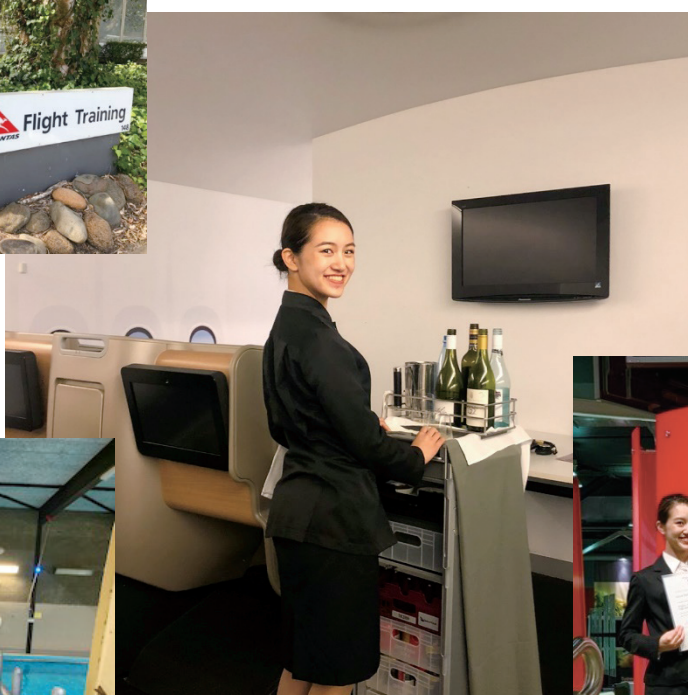
チャイルドケア（オーストラリア）

〈エステーエートラベル主催 ウェスタン・シドニー大学英語+キャビンクルー・グラウンドスタッフトレーニングプログラム〉

(株) エステーエートラベルが主催する体験型プログラムです。

### ■プログラムの特徴

- ◇ ウェスタン・シドニー大学で2週間の語学研修後、カンタス航空の研修施設でキャビンクルーとグラウンドスタッフ両方の仕事が体験できます。
- ◇ エコノミー、ビジネスクラスでの機内食サービスの体験や緊急脱出訓練を行います。航空業界に興味がある方や就職を考えている方にぴったりのプログラムです。





■エスティーエートラベル主催 ウェスタン・シドニー大学英語＋キャビンクルー・グラウンドスタッフトレーニングプログラム参加者数

2020年度

新型コロナウイルス感染症拡大のため、催行されませんでした。

2019年度

プログラム名	家	文	社	人	比	短	合計
ウェスタン・シドニー大学英語＋ キャビンクルー・グラウンドスタッフトレーニングプログラム	1	1	0	0	0	0	2

〈早稲田大学アカデミックソリューション主催 海外フィールドスタディ（課題設定型）プログラム〉  
（株）早稲田大学アカデミックソリューションが主催する体験型プログラムです。

■プログラムの特徴

- ◇ 机上の知識だけではない「生きた知識」を身につける学習方法「フィールドスタディ」に、課題設定型学習要素を加えたグローバル社会に役立つ海外研修プログラムです。
- ◇ 各国にそれぞれ異なるオリジナリティあふれる課題を自ら発見・設定し、参加学生を中心にその解決策を探り、その過程で問題解決へのアプローチ方法を身につけることができます。
- ◇ 現地大学や日系企業訪問、インターンシップ、ボランティア活動などのフィールドワークが充実しています。
- ◇ 他大学との合同研修で、新たな出会いといつもと違う学び体験ができます。国内での事前・事後研修により、研修効果を高めます。

■早稲田大学アカデミックソリューション主催 海外フィールドスタディ（課題設定型）プログラム参加者数

2020、2019年度

新型コロナウイルス感染症拡大のため、催行されませんでした。



ホテルでインターンシップ体験（マレーシア）



子供の支援活動（カンボジア）

## 《短期研修 参加までの流れ》

～夏期（7月～8月）出発の場合～

時 期	手続・イベント
4月～5月頃	①募集説明会参加 ・4月頃に開催日時・場所などを大学HP・UNIPA等で告知します。 ・研修内容、申込方法等について説明し、申込書等をお渡しします。 ・基本的に昼休みの時間（12：20-12：50）に複数回実施しますが、もし参加できない場合は国際交流支援グループにお問い合わせください。 ②研修参加申込 ・申込締切日までに申込書類を提出してください。 ③選考結果発表 ・結果発表後、研修参加が確定となります。
5月～7月頃	④パスポートの準備 ・所持していない方は準備をお願いします。 ⑤ガイダンス参加（複数回） ・渡航準備、支払い手続、海外旅行保険加入、危機管理オリエンテーション等を行います。
7月～8月頃	⑥短期研修参加
9月頃	⑦単位認定関連書類、アンケートの提出 ・締切日までに提出してください。

～春期（2月～3月）出発の場合～

時 期	手続・イベント
10月～11月頃	①募集説明会参加 ・9月頃に開催日時・場所などを大学HP・UNIPA等で告知します。 ・研修内容、申込方法等について説明し、申込書等をお渡しします。 ・基本的に昼休みの時間（12：20-12：50）に複数回実施しますが、もし参加できない場合は国際交流支援グループにお問い合わせください。 ②研修参加申込 ・申込締切日までに申込書類を提出してください。 ③選考結果発表 ・結果発表後、研修参加が確定となります。
11月～2月頃	④パスポートの準備 ・所持していない方は準備をお願いします。 ⑤ガイダンス参加（複数回） ・渡航準備、支払い手続、海外旅行保険加入、危機管理オリエンテーション等を行います。
2月～3月頃	⑥短期研修参加
4月頃	⑦単位認定関連書類、アンケートの提出 ・締切日までに提出してください。

※学部主催プログラムについては、各学部にお問い合わせください。



## 長期留学・交換留学

大妻女子大学が協定を結ぶ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、中国、台湾、韓国、フランスなどの大学に、1学期間または1年間留学するプログラムで、留学期間中に所定のレベルに到達すると現地の学生とともに大学の正規科目を受講できる場合もあります。

なお、長期留学では留学期間中の学納金は、授業料は免除され、教育充実費のみ納入します（留学先の学費は納入します）。

また、交換留学では留学期間中の学納金は大妻女子大学に納入します（交換留学先の学納金は免除となりますが、寮費などの支払いが必要です）。

協定校への長期留学・交換留学では、留学期間は在学年数として認められ、留学先で得た単位を本学の単位として認定する制度があります。卒業までに必要な単位を取得すれば、通常の修業年限での卒業が可能となる場合もあります。

### ■長期留学実施校

海外の大学との協定をもとに、学生が1学期間または1年間で協定校で学ぶプログラムです。

国	名称	対象	問い合わせ先	実施期間(約)	時期	滞在先
アメリカ	マレー州立大学IIS	全学	国際センター (国際交流支援グループ)	5ヶ月間	8月～12月	寮
				10ヶ月間	8月～5月	
	カリフォルニア州立大学チコ校 ALCI			5ヶ月間	3月～7月	ホームステイ
				9ヶ月間	3月～12月	
	カリフォルニア大学リバーサイド校 エクステンション			5ヶ月間	3月～8月	寮
				9ヶ月間	3月～12月	
カナダ	ヨーク大学ELI			6ヶ月間	8月～2月、 2月～8月	寮
オーストラリア	ディーキン大学ELI			11ヶ月間	2月～12月	ホームステイ、寮
	モナシュ大学ELC			8ヶ月間	8月～3月	ホームステイ
	マッコリー大学ELC			7ヶ月間	8月～3月	ホームステイ
ニュージーランド	オークランド工科大学IH			5ヶ月間	3月～7月	ホームステイ
中国	北京師範大学漢語文化学院			6ヶ月間	2月～7月	寮
		1年間	2月～1月			
	大連外国語大学漢学院	6ヶ月間	2月～7月	寮		
		1年間	2月～1月			
台湾	国立台湾大学文学院語文中心	7ヶ月間	2月～8月	民間レジデンス、 ホテル		
1年間	2月～2月					
フランス	レンヌ第2大学CIREFE	4ヶ月間	9月～12月	ホームステイ		
中国	南開大学漢語言文化学院	比較文化学部	5ヶ月間	9月～1月	寮	
台湾	国立台湾師範大学国語教学センター		6ヶ月間	9月～2月	寮	
ドイツ	ミュンスター大学WiPDaF		5ヶ月間	8月～12月	ホームステイ	
イギリス	オックスフォード大学ハートフォード カレッジIPD		6ヶ月間	10月～3月	寮	
	オックスフォード大学ハートフォード カレッジIPD		短期大学部英文科	6ヶ月間	10月～3月	寮

## ■ 交換留学実施校

協定をもとに、1学期間または1年間、大妻女子大学と協定校との間で双方の学生を派遣・受け入れるプログラムです。

国	名称	対象	問い合わせ先	実施期間(約)	時期	滞在先
中国	山東女子学院	全学	国際センター (国際交流支援グループ)	3週間	3月	寮
韓国	仁荷大学校			4ヶ月間	3月～6月、 9月～12月	寮
				10ヶ月間	3月～12月	
	国民大学校			4ヶ月間	3月～6月、 9月～12月	寮
				10ヶ月間	3月～12月	
	崇実大学校			4ヶ月間	3月～6月、 9月～12月	寮
				10ヶ月間	3月～12月	
	明知大学校			4ヶ月間	3月～6月、 9月～12月	寮
				10ヶ月間	3月～12月	



カリフォルニア州立大学チコ校 (アメリカ)



国民大学校 (韓国)



マレー州立大学 (アメリカ)



ディーキン大学 (オーストラリア)



■長期留学・交換留学参加者数（出発時点が年度内のもの）

2020年度

新型コロナウイルス感染症拡大のため、催行されませんでした。

2019年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	マレー州立大学（5ヶ月間）	0	2	1	0	1	0	4
	マレー州立大学（10ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	カリフォルニア大学リバーサイド校（5ヶ月間）	0	3	0	0	0	0	3
	ディーキン大学	0	1	0	0	1	0	2
	国立台湾大学（7ヶ月間）	0	4	0	0	0	0	4
	国立台湾大学（12ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	国民大学校（交換）（4ヶ月間）	0	0	1	0	0	0	1
比較文化学部	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	3	-	3
	ミュンスター大学	-	-	-	-	1	-	1
	モナシュ大学	-	-	-	-	4	-	4
	国立台湾師範大学	-	-	-	-	1	-	1
短期大学部英文科	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	-	1	1

2018年度

大学		家	文	社	人	比	短	小計
国際センター	マレー州立大学（5ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	カリフォルニア大学リバーサイド校（5ヶ月間）	0	1	0	0	1	0	2
	ディーキン大学	0	2	0	0	0	0	2
	国民大学校（交換）（4ヶ月間）	0	2	0	0	0	0	2
	国民大学校（交換）（10ヶ月間）	0	1	0	0	0	0	1
	明知大学校（交換）（4ヶ月間）	0	0	1	0	1	0	2
	国立台湾大学（7ヶ月間）	0	3	0	0	0	0	3
比較文化学部	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	1	-	1
	ミュンスター大学	-	-	-	-	2	-	2
	モナシュ大学	-	-	-	-	2	-	2
	国立台湾師範大学	-	-	-	-	2	-	2
短期大学部英文科	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	-	-	-	-	-	1	1



カリフォルニア大学リバーサイド校（アメリカ）

## 《長期留学・交換留学 参加までの流れ》

～春期（2月～3月）出発の場合～

時 期	手続・イベント
5月～7月頃	①募集説明会参加 ・5月頃に開催日時・場所などを大学HP・UNIPA等で告知します。 ・留学内容、出願方法について説明し、申込書等をお渡しします。 ・基本的に昼休みの時間（12：20-12：50）に複数回実施しますが、もし参加できない場合は国際交流支援グループにお問い合わせください。 ②出願準備 ・GPA（通算）、語学検定試験の結果等の出願基準があります。 ※詳細は国際交流支援グループにお問い合わせください。
9月～10月頃	③出願 ・出願締切日までに書類を揃え、出願書類一式を提出してください。 ④選考試験 ・筆記、面接試験等を行います。 ⑤選考結果発表 ・結果発表後、留学参加が確定となります。
10月～2月頃	⑥パスポートの準備 ・所持していない方は準備をお願いします。 ⑦ガイダンス参加（複数回） ・渡航準備、支払い手続、海外旅行保険加入、危機管理オリエンテーション等を行います。
2月～3月頃	⑧長期・交換留学参加（約4ヶ月間～約1年間）
帰国後	⑨単位認定関連書類、アンケートの提出 ・締切日までに提出してください。



マレー州立大学（アメリカ）



ヨーク大学（カナダ）

～夏期（7月～8月）出発の場合～

時 期	手続・イベント
9月～11月頃	①募集説明会参加 ・9月頃に開催日時・場所などを大学HP・UNIPA等で告知します。 ・留学内容、出願方法について説明し、申込書等をお渡しします。 ・基本的に昼休みの時間（12：20-12：50）に複数回実施しますが、もし参加できない場合は国際交流支援グループにお問い合わせください。 ②出願準備 ・GPA（通算）、語学検定試験の結果等の出願基準があります。 ※詳細は国際交流支援グループにお問い合わせください。
1月～2月頃	③出願 ・出願締切日までに出席資格を満たし、出願書類一式を提出してください。 ④選考試験 ・筆記、面接試験等を行います。 ⑤選考結果発表 ・結果発表後、留学参加が確定となります。
2月～7月頃	⑥パスポートの準備 ・所持していない方は準備をお願いします。 ⑦ガイダンス参加（複数回） ・渡航準備、支払い手続、海外旅行保険加入、危機管理オリエンテーション等を行います。
8月～9月頃	⑧長期・交換留学参加（約4ヶ月間～約1年間）
帰国後	⑨単位認定関連書類、アンケートの提出 ・締切日までに提出してください。



マッコーリー大学（オーストラリア）



レンヌ第2大学（フランス）

※学部主催プログラムについては、各学部にお問い合わせください。

※山東女子学院交換留学は短期研修の春期（2月～3月）出発のスケジュールで実施予定です。



## 参加者の声（一部抜粋）

### ■短期研修



研修・留学先：カリフォルニア州立大学チコ校 短期語学研修（アメリカ）

#### 研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 今後の人生の選択肢が増え、自分の中で、今後どうしたいのか、何がしたいのかがはっきりしました。この留学には本当に感謝しています。
- 新しい発見が多々あったこと。アメリカについてだけでなく、ALCIに通っていたアジアの他の国の学生から様々な情報を得ることができました。

#### 研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- ALCIでは、月・水・金曜日にSpeaking & Writing、火・木曜日にListening & Readingというスケジュールでした。それに加えて、火・木曜日は大学でJapanese Culture & CivilizationとJapanese song Lyricsの授業にJapaneseのネイティブとして参加しました。
- ALCIの授業では英語を先生とのコミュニケーションを通して学びました。他に現地の学生と一緒に日本の歴史や日本語を学ぶ授業では、発音をクラスの人に教わったり、逆に日本について教えたりしながら楽しく学びました。
- 生活面では、ホームステイ先の家族に教会に連れて行ってもらいました。想像とはとても異なっていて宗教に興味を持つきっかけになりました。

#### 研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 国籍を越えた交友関係です。ALCIに通っていた韓国やモンゴル、UAEなどからの留学生たちはもちろん、大学の授業にも参加したことで、現地の学生とも友人関係を築くことができました。
- 英語で話すことが怖くなくなりました。ボディランゲージなどを駆使して積極的に話そうと思えるようになりました。

#### 研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- せっかく英語に慣れてきた耳を無駄にしないように、次アメリカに戻るまでの日本にいる間も、1人でも行える形の勉強に取り組みます。

#### 日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- プラスチックゴミへの取り組みです。何を買っても基本的に袋なしで渡されます。Plastic bagを購入しても\$0.25程度ですが、やはり自分で持ち歩くことを習慣にするべきだと学びました。周りではマイタンブラーを持ち歩いている人が多く、毎日ペットボトルを買うのを改善すべきだと思いました。
- 後期の授業でジェンダーについて学んでいたため、気が付くことが多かったです。日本のデパートの化粧品売場の販売員の方はほとんどが女性ですが、アメリカでは男性の販売員の方に接客してもらいました。男性でも化粧品を楽しむ人はたくさんいるのにあくまで女性のみをターゲットとした市場を不思議に感じていたので、やはりアメリカの考えは進んでいるなど感じました。



## 来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- Chicoは1ヶ月では本当にもったいないくらいのもとても良い場所です。正直、現地に行って2週間目までは帰りたい気持ちがありました。でも、そんな私も、「帰りたくない」という感情になるくらいの沢山の素晴らしい出会いと留学の魅力がありました。とてもここには書き表せられないほどの刺激を受けました。留学に行くことを絶対におすすめします！
- 参加時期にその国で行われるイベントなどは事前に調べていくとよいかもかもしれません。



研修・留学先：ヨーク大学 短期語学研修（カナダ）

## 研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 学力テストで分かれたクラスによる英語の学習です。自分のレベルに応じた環境で学ぶことができたので、無理せず楽しみながら授業に参加することができました。
- 現地の教員や学生、日本から同じプログラムで来ている学生と出会えたことが最も有意義だと感じた。留学前は4週間英語を学ぶだけという意識だったが、沢山のアクティビティを通したり、日常を共に過ごしたりして、人との繋がりやコミュニケーションをとる楽しさを大いに感じる事ができた。

## 研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 授業では、文法・発音・リーディング・リスニング・プレゼンテーション・カナダの文化について学びました。また宿題では、日記やプレゼンテーションのためにクラスリーダーなどにインタビューをして会話をしました。
- 課外アクティビティが多いことが魅力です。カナダの有名な場所や観光地に行ったり、スポーツ観戦やキャンプをしたりすることでカナダを感じることができました。私は海外へ行き慣れていないので、自由時間がたくさんあるよりは自分では行かないようなところへたくさん連れて行ってほしい、新しい発見がたくさんありとても充実したと思います。また、キャンプでは普段のクラス関係なくみんなで過ごすので、たくさんの人と仲良くなれる場となりました。
- 授業以外の時間は、課題やプレゼン発表の準備などで英語の学習に取り組んでいました。また日常においてもコミュニケーションを取るために必ず英語で会話をしなければならないため、より実践的で効率良く英語のスキルを鍛えることができました。

## 研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 英語力の向上はもちろん、他大学の生徒や現地の生徒・先生方などの多くの人々との関わりによって、自分の立場や役割を弁えて行動する社会性もしっかり身についたと思います。
- 日本を離れてみて英語（その他含め知識）がどれほど大切かを痛感できたこと。
- 知らない地でも自ら積極的に行動することや仲間との助け合いの大切さを実感したこと。

## 研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- これからも外国人だからと関わりを避けようとするのではなく積極的にコミュニケーションを取ることが大切にしていきたい。
- また海外に行きたいと思えたし、挑戦することの大切さ、また挑戦するための勇気をもらったので色々なことに自分から取り組んでいこうと思う。

## 日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 日本とカナダの「サービス」についての考え方の違い。カナダの店員さんは接客中であっても携帯を使うなど、日本では行われていないことを多く目にした。また日本は何かお店側に少しでも不満や不備があるとお店側はすぐに謝ることが多いが、カナダではそういう事がなかったのでその国によってサービスについての考え方が違うことが分かりました。

## 来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 私は行く前は期待より不安の方が大きかったです、意外と1か月はあっという間でした。改めて思い



返すと1日1日はとても濃いものでたくさんの経験・思い出ができました。アクティビティ以外の自由時間にも色々な所に行くことができるため、なんとなくでも調べておくとよりカナダの街を楽しめるのかなと思います。



研修・留学先：モナシュ大学 短期語学研修（オーストラリア）

**研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。**

- オーストラリア在住の家族のもとにホームステイすることができたこと。ホストファミリーと過ごしているときに、留学の中で最も言葉や文化を勉強することのできた時間であったと思う。
- 毎日の学校が最も有意義だと感じました。1日たった4時間ほどの授業だったが、日本で普通の大学に通っている私は1時間以上英語に触れる機会はなく、授業内容もとても楽しいものだったので、毎日学校に行きたいと思うことができました。

**研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。**

- 語学学校での授業では、クラスメイトと会話やディスカッションをしたり、プレゼンテーションを行ったりする機会が非常に多く、コミュニケーション能力の向上が重視されていた。リスニングの練習は、比較的ゆっくりと読まれたものや、ネイティブのスピードで読まれたものなどにかくたくさん聞いた。ライティングの練習は、Eメールの文や、自分で考えた物語を書いて、添削指導を受けるというものであった。
- 授業外の学習としては、帰宅したらまずは学校で毎日出される宿題に取り組み、自分が最も課題にしていたコミュニケーション能力の向上のため、できるだけホストファミリーと会話をするよう努めた。ファミリー側も、私のオーストラリアでの生活が有意義なものになるように協力してくれたため、たくさん会話することができた。

**研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。**

- 自分の意思を他者に伝える勇気を得ることができたと思う。以前は、相手からどう思われるのかということばかり気にして、思っていることを我慢してしまったり、相手の意見に合わせてしまったりすることが多かった。しかし、思っていることを相手に伝えるのが当たり前の文化の中で生活を送っていると、自分の意思を伝えないわけにはいかないという場面が多く、だんだんと自分の意思をはっきりと示すことができるようになった。そして、意思を伝えたほうが、自分のことをよく理解してもらえるようになるし、それによって相手が自分のことを悪く思うことはないのだと気づいた。

- 異文化理解をすること。海外で長く生活することによって、その国の良いところと日本の良いところが見えてきました。ホームステイだったため、普段の旅行では体験できない、ハウスルールや、家庭料理などが楽しめました。

#### 研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 色々な人とコミュニケーションをとる中で、他者理解ということを頻繁に考えさせられた。今後も他者とのコミュニケーションを大切に、多くの人を理解しようと努められる人になりたいと思う。また、他者理解は、自分が専攻している心理学に関係していることだと思ひ、もっと勉強したいと思ひた。

#### 日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- オーストラリアでの生活は、日本での生活と比べる部分がたくさんあった。特に時間や礼儀に関しては顕著だった。しかし、これによってストレスなく充実した生活が実現できていると思ひた。オーストラリアの人々は日本人よりもはるかにゆったりと過ごしてひて、仕事が生括の主軸になるべきではないと考えている人が非常に多い印象を受けた。
- とてもフレンドリーで親切な人が多く、電車の中や町ではたくさんの人と会話したり、困ったときには助けてもらったりした。

#### 研修・留学中に困ったことはありましたか。それはどんなことでしたか。

- 自分の語学力では、思っていたよりもホストファミリーに意思を伝えるのに苦勞する場面が多くあった。

#### 来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 留学先では友達の存在がとても大切だったと思ひます。オーストラリアがとても過ごしやすいとはいひえ、慣れない地での生活が続くというのは、疲れるし、困ったり悩んだりするときもあると思ひます。そんな時支えになるのは、同じように頑張っている友達の存在だと思ひるので、同じ大学の人や、語学学校の人など、多くの人との関わりを大事にしてほしいです！短期の留学でも、自分の行動次第で、その後の人生にプラスになるような有意義な経験にすることができると思ひるので、頑張ってください！
- 私は高校生の時から漠然と留学したいという気持ちがあり、大学生になって、1年の夏から留学案内をチェックしていましたが、1人行動が苦手なこともあり、中々勇気が出ませんでした。ですが、最後のチャンスになるかもしれないと思ひ、申し込んで、実感も湧かず飛び立って、いつの間にか英語での生活に慣れていたし、とても楽しいと心から思うことができました。見知らぬ地に飛び込んでいくのは不安なことも多いかと思ひますが、「初めて」のことに恥ずかしさはないので勇気をもつことが大事だと思ひます。頑張ってください。



研修・留学先：アジア・パシフィック大学 短期語学研修（マレーシア）

#### 研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 日本では出来なひ発展途上国での生活や、今まで触れたことのないイスラム教などの他宗教を経験したこと。様々な国から来ているクラスメイト達と英語で自分たちの国の文化について共有できたこと。
- 休日に様々な場所へ行けたこと。モスクや洞窟へ実際に行くことでその場所特有のマナーや文化を実際に体験できた。そのため、食事や生活等様々な面から異なる文化を楽しむ心を持つ重要性が理解出来た。

#### 研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 授業で取り上げるトピックは美容整形や薬物乱用についてなど、日本ではなかなか話さない内容が多く、それに対する意見・視点も様々で新鮮だった。
- 英語の授業はWriting&ReadingとSpeaking&Listeningに分かれていた。W&Rでは英語を書く読むのみならず、グループを作りある議題について話し合ひをしてその結果をクラスメイトの前で発表することもあり、Speakingの力が必要とされた。S&Lではゲーム形式で英語を話すこともあり、歌のListeningなどをして楽しみながら学べた。
- 授業以外の学習として、1度放課後にアクティビティを行った。グループを作って紙で民族の新しい衣





装を作るというものだった。違うクラスの人もいたため、交流を広げることが出来た。もちろん、授業もアクティビティも全て英語で行われたので、とても良い英語の勉強になった。

#### 研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 日本では当たり前だったことがマレーシアでは通用しないことが多く、今までどこにあるのかもわからなかったような国の友人と話すことで自分とは違う価値観に触れて、物事を広い視野で見ることが出来るようになったと思う。
- ハングリー精神。英語を話すのはあまり得意でないし、正直話さないでいようと思えばやり過ごしてしまう環境だった。だからこそ毎日自分から話しかけて、挨拶やお礼でも些細なコミュニケーションを取ることを大切にしました。

#### 研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- この留学で何事も広い視野で様々な角度から見る事の大切さを知った。また、公用語がマレー語のため英語が通じない人も少なくなかった。そのことから今後は中国語を学ぶ必要性を改めて感じた。
- 英語はただ机に向かって勉強するだけのものではなく、言葉であることがよく分かった。英語の勉強法としての選択肢が広がった。新しく、英会話を始めるなどして、自分の生活に組み込みやすい形や方法で今後も英語を学べたら良いと思う。

#### 日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 先進国と発展途上国なので違う点は多かった。日本は交通がとても発展しているがマレーシアは歩道がほぼない状態だったのでタクシー移動がメインだった。多くの宗教が混合しているので、宗教上の理由で学校の時間割が金曜日だけ変則的になっていた。

#### 研修・留学中に困ったことはありましたか。それはどんなことでしたか。

- 学校の室内は本当に寒く、日本から着てきたコートを着てくる人もいた。
- ルームメイトと違うクラスになり、授業開始時間が違うため起床時間など合わせる必要があった。

研修・留学先：スターリング大学 短期語学研修（イギリス）



#### 研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 実際に使われている生きた英語に触れることができ、日常で英語を話さなければならない環境で過ごした経験や、実際に外国の文化に触れ改めて日本の良さを知る機会になり、幅広い視点から物事を捉えられるようになった点が最も有意義だったと言える。
- 自分で生活のスケジュールを組めたことです。料理・洗濯は自分でやらねばならないので、買い物に行

く日や料理にかかる時間を逆算して行動する生活は大変ではありましたが、実家でなんでも頼りっきりだった自分にはとても新鮮で、有意義に生活していたなと感じています。2か月という期間でしたが、継続していたことは自分でも驚くくらいでした。

### 研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。

- 語学のみならず、スコットランドならではの文化を学べた。授業以外では現地学生と交流し、異文化を身近に感じる機会となった。
- 毎日、リスニング、ライティング、リーディング、スピーキングの授業でした。教科書を使うこともあれば、グループワークでポスターを作成したり、プレゼンの資料を作成したりしました。毎週末には日記を100字以上書いて提出でした。それらをやることで4つの技能を鍛えることができました。
- 寮の近くのスーパーで基本的には買い物を済ませていました。4日に1度の割合で買い出しに行き、自炊を心がけていました。現地の友達に誘われてパーティーに参加したり、ご飯を食べに行ったりもしました。毎週末に行われるアクティビティで様々な場所へ行き、毎回とても新鮮でした。

### 研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。

- 今までずっと実家暮らしで甘えきった生活から一転して、自分で全てやらなければならないという環境下の中、異国の文化に触れ、友達と様々な場所に行き、日本の大学とは全く違う場所で勉強する毎日は、「自立」という言葉が一番身にしみました。自分で行動する力を一番得たと思います。
- 語学力はもちろんのこと、自身の価値観が広がりました。留学先には多様な人が集まるため、自分とは全く異なった文化的背景を持つ人と出会うことができます。さまざまな考え方に触れ、新しい考えを受け入れ、それについて考えることで自身の価値観が広がったと思います。

### 研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 今回の留学を通して自分の実力を知れたので、もっと自分の英語力を磨いていき、多くの外国人と意思疎通がとれるようになりたいと強く思った。そのためにも、今後も英語の勉強を続行し、TOEICなどの資格にも挑戦していこうと思う。
- 今回の約2か月の生活で、1人でできることも少なからずあるということがわかり、自分に自信が持てました。この経験を生かして、世界にもっと目を向けてみることを以前より強化して、自分の将来の視野を広げていきたいと思います。

### 日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 生活必需品以外の物価は高い印象がありました。日用品には税金がかからないため自炊をすると安く済みます。その他には、全てにおいて自由だと感じました。ファッションやLGBTなどにおいて全く干渉されません。
- 道に迷っていたら声をかけてくれるなど、見知らぬ人にも親切にしてくれるなと感じました。
- クレジットカード社会であり、バスの定期から基本的にはクレジットカード一枚で生活可能だった。

### 来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 留学に行く前にはある程度英語を勉強し、単語などの知識を増やして行く方が良い。また、積極的に現地の人に話しかけた方が良い。
- 2か月の期間で、本当にいろんな経験をします。よく思わないことももちろんありますし、大変だともあります。でも毎日が冒険で、新しいこともたくさん経験します。一つ言えるのは、実家暮らしでも、生活できることです。料理もできるようになるし、洗濯も覚えられます。買い物も美容室も全てでなんとかなります。だから「家事ができない」はなんて事ありません。全て挑戦して下さい。







**研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。**

- 毎日中国語に触れることができ、なによりも少人数で行われる中国語しか使わない大学の授業がとても楽しかったです。

**研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。**

- 私のクラスはみな日本人でしたが、朝の9時から12時まで、台湾人の先生と中国語しか使わない授業を受けました。自分のレベルに合った教科書を使用し、とても楽しく受けることができました。授業以外では、友人と大学近くのレストランにご飯を食べに行ったり、また地下鉄に乗ったりなど、初めてのことばかりで楽しかったです。

**研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。**

- 語学力が成長したと感じます。中国語を話すことに抵抗を感じなくなり、自分の意識も変わったと感じ、行ってよかったと感じました。また、初めての寮生活で自分の生活力も身につけることができました。

**研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。**

- 学んだことを忘れずに、3年になっても中国語の授業をしっかりと受け、検定などにも挑戦したいと思っています。

**日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。**

- 時間の流れがとてもゆっくりに感じられ、人々も優しく幸せに過ごすことができたと感じます。

**研修・留学中に困ったことはありましたか。それはどんなことでしたか。**

- 寮の部屋の電気の調子が悪かったことくらいでした。そのほか、感染症が流行していた影響もあり、どこか不安な気持ちもありながら過ごしましたが、楽しかったです。

**来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。**

- 学びたい、楽しもうという気持ちがあれば3週間はあっという間なので、大事に過ごしてほしいです。



**研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。**

- オプションであるアクティビティは自由参加でしたがほぼ参加しました。レンヌの様々な場所へ行ったり、少し遠くにバスを借りて遠足にも行きました。特に、Dianという街に遠足に行ったことが思い出に残っています。城壁に囲まれて教会がいくつもあり素敵な街並みでした。週末は自由に外出することができたので、中心街やモン・サンミッシェルに足を伸ばしたりと充実した時間を過ごすことができました。

**研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。**

- 最初は授業についていけるか少し不安でしたが、簡単な自己紹介から教わるので難しすぎることはないと思います。
- 口答中心の授業が多く、マルシェやスーパー等の買い物でも授業で習ったことがそのまま使えました。そのため、買い物中に会話ができなくて困るということはありませんでした。レジに並んでいると同じように並んでいるお客さんから話しかけてもらうことが多々あり、学校以外でもフランス語の勉強が自然とできる環境でした。

**研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。**

- フランス語のリスニング力が上がったと思います。ずっとフランス語を聞いていたので、よく使われる言葉や聞いたことのある単語を中心に何を言っているのかを理解できるようになったと感じました。
- フランス語学習のモチベーションが上がりました。実際にフランスに来てみてまだまだ勉強が足りない

と思い、反省しています。同じクラスでも話せている人もいたので、周りからも良い刺激をもらいました。

- 日本人以外の友達がたくさんできたことにより、海外の文化や習慣を受け入れることへの抵抗が少なくなりました。例えば、挨拶のビズもだんだん当たり前になってきます。「日本人だから…」とためらっていたことも今回の研修で考えが変わりました。この研修に参加したことで、広く物事を見ることができるようになったと思います。

#### 研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。

- 自分の意見や考えをしっかりと言えるくらいスピーキング力をつけたいと感じました。語彙をもっと増やし、対話がスムーズに成り立つくらいにしたいです。
- 日本に興味を持った人たちに日本の魅力を伝えて行きたいと考えています。フランス人の中には英語が話せない人もたくさんいます。私はそのように英語がわからない人にも日本をもっと知ってほしいと思います。

#### 日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 「挨拶」と「謝罪」への考え方が全く違います。フランス人はお店に入る際に必ず店員に挨拶し、購入してもしなくても挨拶をしてからお店を出ます。また、日本人はよく謝りますが、フランス人は謝ることはあまりないように感じました。

#### 研修・留学中に困ったことはありましたか。それはどんなことでしたか。

- 困ったことはたくさんありましたが、毎回どうにかなっていたと思います。唯一、1ヶ月常に困っていたことは寒さでした。夏にも関わらず、朝の気温は一桁になることがあり、体調管理に気を遣っていました。

#### 来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 授業が全てフランス語で行われるので、文法はわかっている程度でもある程度の語彙力がないと大変です。先生が「わかった?」「大丈夫?」「質問はない?」とたくさん問いかけてくるので、応答することが大切です。



研修名：イタリア文化研修（イタリア）

#### 研修・留学に参加し最も有意義だった事柄は何ですか。

- 今回は語学研修ではなく文化研修であったので、ガラス工房や織物工房、オリーブオイル工場にも行き、職人技を目にすることができたのはとても有意義な時間だった。
- 旅行ではできない体験をできたこと。イタリア語の授業はもちろんのこと、レジデンスでの自炊生活、数多くの伝統工芸見学・体験、有名観光地訪問、全てが有意義であった。中でも、パルージャで自由に散策した経験は地元の人とイタリア語で会話する機会になり、授業で得たことをすぐに実践できた。



**研修・留学ではどのような授業を受けましたか。また、授業以外の学習や生活面の経験はどのようなものでしたか。**

- イタリア語のみの参加型授業。発言を促す先生、日本とは違いたくさん発言するクラスメイトのおかげで自分も声を出すようになっていた。
- 全て自分の知らない言語で行われる授業というのは初めての経験で、最初の頃は先生が書いていることを写すのが精一杯でした。しかし、3日目くらいからなんとなくの意味は推測できるようになってきて、確かな手応えを感じました。
- 授業後は、現地大学の日本人の先生に教えてもらいながら復習をした。これが大きな支えになり、短期間でもきちんとした学びを得ることができたように思います。

**研修・留学に参加して、何を得たと思いますか。**

- 言語を学ぶ楽しさや人と触れ合う楽しさ、自信がなくてもしっかりと発言をする大切さ、どんなことでも楽しもうとする心、感性。
- 広い視野と考え方。日本だけでなく海外の様子を身近に感じることで、日本の良いところや、日本にない海外の良いところを知ることができた。また行動力を得た。自らの意思で積極的に人生を歩んでいきたい。
- 伝統工芸の重要性に気づけたこと。機械化が進んでいる現代において伝統工芸を守り続けていく必要があると思いました。

**研修・留学に参加して得た経験を、今後どのように生かしていきたいと考えていますか。**

- 自分の目で見たことを増やし世界を広げることで、より客観的で多彩な思考が可能になればいいなと思っています。また、学芸員という文化財や文化そのものを守る仕事を目指しているので、それらに関





わる人々の熱量、連綿と続いてきた歴史に間近で触れ、より一層この仕事への思いが深まりました。

### 日本と留学先の国の違いについて気づいたことがあれば書いてください。

- 朝の通勤時に口笛を吹いている人がいたり、笑顔があふれていたりしてとても活気があった。日中は働き夜はバーでみんなで楽しくおしゃべりをするなど、生活のオンオフがしっかりしていた。
- 時間にとってもルーズなところ。複数あったバス停の時計がすべてバラバラの時刻を指していたのには思わず笑ってしまいました。

### 来年度以降の研修・留学に参加する後輩へのアドバイスをお願いします。

- 少しでも英語が話せるようになっておくと便利です。
- 文化研修でもあるので、みっちり勉強ばかりする必要はありませんが、コミュニケーションを取る場面があるので、単語を1つでも多く覚えているとさらに有意義な研修の時間が過ごせると思います。そして周りの建物がどれも素晴らしいものばかりなので、日本にいるときより自分の目に入るものを楽しんでほしいと思います。
- 費用が何とかなるなら、迷っている方はぜひ参加するべきです。同じ後悔なら参加しないで「行けば良かった」と思うよりも、参加して「自分に海外は合わなかったな」と思う方がいいです。3年で参加しても問題ありませんが、できるだけ1,2年生のうちに参加した方がいいと思います。

## ■長期留学・交換留学

氏名：H.H (文学部 英文学科)

研修・留学先：マレー州立大学 長期留学 (アメリカ) 2019年8月～2020年5月



私が留学を通して自分が変わったと思うことは2つあります。1つは毎日を充実させるための努力をするようになったことです。留学前の私は毎日をなんとなく過ごしていました。大学の授業を受け、バイトに行き、携帯を長時間眺めている、そんな日々でした。平凡な生活は悪いことではありませんが、今思うとそんな生活はとても退屈だったように思います。留学中は少しでもこの貴重な経験を無駄にしたくないと考え、できるだけ多くの時間英語を話したり、友達や先生方と時間を過ごすようにしたりしていました。しかし、この考えは日本にいても同じだと思うようになりました。大学生でいられる時間は限られているし、社会人になって両親や周りの友達と離れてしまう可能性もあります。留学を通して考え方が変わったことで、日本に帰ってきた今、何気なく日々を過ごすのではなく、何か意識をしたり目標を定めたりするようになりました。例えば、毎日英単語を覚える、週末は早起きをして散歩に行くなどです。大きな変化ではないかもしれませんが、充実した日を過ごせたと実感でき夜はぐっすり眠れます。新型コロナウイルスの影響で家の中にいる時間が多いと感じますが、この考え方のおかげで自粛生活を苦痛に感じたことはありません。この点で私は留学に行ってきたと感じました。

2つ目は英語の勉強に対する姿勢です。私は英語を聞く、話すことがほとんどできませんでした。それは、私は今まで英語圏への旅行や留学経験がなかったので、実際にネイティブの英語をあまり聞いたことがなかったことや、英語の勉強は大学に入るため、TOEICのスコアをとるためのものと思っていたことが原因です。しかし、留学中友達と話すこと、先生の面白い話を聞くことを通し



てそれらがとても楽しいと思うようになりました。今まで勉強のためだけであった英語を実際に使い楽しいと思えたことで、英語を学ぶ意欲ができました。以前は単語を丸暗記したり文法書を読み込むだけだったのですが、留学後は海外ドラマを積極的に見たり、YouTubeを見たりして話す聞く能力を高める努力をしています。

最後に、私はコロナウイルスの影響で留學生活最後の2ヶ月は日本の自宅からのオンライン授業でした。帰国が決まった当初はとても落ち込んだのですが、どこへ行っても自分のやることをやるだけだと、この留學生活を通して学んだことが支えになってくれたと思います。

氏名：A.A (文学部 英文学科)

研修・留學先：カリフォルニア大学リバーサイド校 長期留學 (アメリカ) 2020年3月～9月



訪れた時は3月の中旬で、まだ新型コロナウイルスが深刻化しておらず、留學生活も通常通りに送れるだろうと考えていました。ところが、コロナの影響で全てがオンライン授業に変更となりました。日中韓そしてクウェートからの学生が多く滞在していた寮も1か月後には半分以上が帰国してしまい、思い描いていた留學生活とはかけ離れたものになってしまいました。しかし、幸いにも私のルームメイトはカリフォルニア大学の学生だったので、英語を話す環境を作ることができ、5か月間の留學生活を乗り越えることができました。

留學中の授業は、最初の4か月間はZoomを使い、予習範囲の答え合わせやテーマに基づきグループでディスカッションを中心に授業を行っていました。毎日の授業でTED Talksの教材を使い、様々な分野で活躍している専門家のプレゼンテーション動画を見ていました。そして、TED Talksのプレゼンテーション動画を扱い、毎回グループディスカッションをしなくてはならなかったため、ただ聞くだけではなくそこから自分はどう思ったかを考える習慣が身に付きました。さらに、授業を通じて自分の意見を相手に伝え、相手の意見を聞きまたそれに返答するディスカッション力も向上できたと考えます。

生活面では、日本ではできない様々な体験や、一生の思い出を作ることができました。留學前は留學先の人たちと仲良くできるか不安でした。しかし、実際に行ってみると先生方やルームメイトが親身に接してくださり、すぐに打ち解けることができました。休日はルームメイトたちと一緒に登山をし、平日の授業後は寮で夕食を食べながら映画を見ました。帰国した今でもルームメイトとは連絡を取り合っています。

最後に、私は留學を通して自分のアイデンティティを再確認することができました。留學前の私は、自分のことが分からず何に対しても自信が持てず、消極的でした。しかし、日本人がいない環境では全て自分から行動を起こさなくてはならなかったため、実行力や決断力を磨くことができました。さらに、自分の意見をはっきりと発言しなくてはならない機会が増え、自然と自分に自信を持つことができるようになりました。最初に思い描いていた留學生活とは異なってしまいましたが、それでも私はこの5か月間の留學で様々なことを経験し、身に付けることができました。留學に行くことができ、本当に良かったと心から思います。今後、状況がどうなっていくか分かりませんが、是非皆さんも学生のうちに留學で様々なことを経験してほしいと思います。



氏名：S.K (比較文化学部 比較文化学科)

研修・留學先：モナシュ大学 長期留學 (オーストラリア) 2019年8月～2020年3月



留學によって得たものは、確かな英語力と英語を話すことへの恐怖心が消えたことです。今では日常で





英語をなるべくたくさん話す機会が欲しいと思っています。その他にも、留学先で海外の友達がたくさんできました。それは私にとって大切なもので、今でも英語で連絡をとったりしています。留学に行かなければ会うことのできなかつた国の人々や異文化や様々な考え方をたくさん知ることができ、それと同時に日本の文化をより好きになることができました。また、私はホームステイで3つの家庭にお世話になりましたが、ホストマザーの出身地はギリシャ、スリランカ、オーストラリアと様々でした。全ての家庭にそれぞれの良さがあって他国の文化をよく知ることができ、本当に楽しかったです。それと同時に、今までいかに自分が先入観を持って生活していたかを痛感させられました。

留学を通して自分が変わったと思うことは、英語をもっと勉強したいと思うようになり、また、海外の文化や情勢に興味を持つようになったことです。友人やホストマザーと英語でメールや手紙のやり取りをしている時に、もっと相手に自分が伝えたいことを正確に言えるようになりたいです。また、彼らの母国の情勢が悪化したり、問題が起こったりしたら心配になるため、理解して、勉強して、その上で海外の友達と仲良くなっていきたいと思っています。

私の行ったモナシュ大学は現地の人以外にも色々な国の人が集まる場所で、街に出ても現地の人や違う国の人たちが経営する飲食店がたくさんあります。そんな場所にいる中で様々な国の人たちと関わり、そこから日本以外の国にも自然と興味が湧くようになっていきます。

この経験は留学後の生活にも生かしていけると思います。海外にも視野を向け、様々な人たちと関わり、理解し、自分を見つめ直すと、自分のやりたいことも見つかっていくと思います。やりたいことを見つけることは簡単ではないですが、留学した経験が助けになる可能性は大いにあると思います。留学したことにより、自分の視野が広がり、物事の考え方が変わりました。それに、大切な海外の友達やホストマザーと出会えて自分のコミュニティの輪も広がりました。とても楽しくて貴重な経験ができたと感じています。機会があればまたオーストラリアに行きたいと思っています。



氏名：N.Y (文学部コミュニケーション文化学科)

研修・留学先：国立台湾大学 長期留学 (台湾) 2020年2月～8月



私は半年間の台湾留学で中国語の能力はもちろん、自分自身の成長を大いに実感することができました。特に、失敗を恐れずに挑戦する度胸がついたと感じています。

海外での生活は言葉をはじめ土地、習慣、文化についての知識が乏しいため、何をするにも様々な疑問や問題点が浮かび上がってきます。自分ひとりの力では解決できない事も多く、中国語を使って人に質問する機会がたくさんありました。初めは発音にも自信がない上、相手が話している内容も2割程しか聞き取れず、上手にコミュニケーションをとれない事を心配して気後れしていました。しかし、欧米から来た同じクラスの留学生がその日習ったばかりの単語や文法を試しながら積極的に店員や大学内の学生に話しかけている姿を見て、たとえ上手に話せなくても伝えようとする意欲や姿勢が一番大事なのだと学びました。それからは完璧に表現できなくても気にせず、なるべく多くの人と中国語で交流を図ることに力を入れました。また、今までしてこなかったことに挑戦する事によって、留学前よりも一人でできるようになっ





た事が増え、一人で行動する機会が増えました。一人でいると誰かに頼ることができず、何が起きても自分の責任になります。やりたい事やその先の計画を考えて自由に行動する楽しさを知ることができ、なにより異国の地で自力で成し遂げられたという自分への自信に繋がりました。

授業ではペアワークやプレゼンテーションの機会が多く設けられ、台湾だけではなくクラスメイトの国についても色々を知ることができ、さらに海外文化に対する意識が高まりました。日本や自分自身についての意見を他の国やクラスメイトと比較しながら発表する事もあり、日本に対しての興味や理解もより深まりました。印象深かったのは、日本人以外のクラスメイトは自国の政治についてしっかり把握しており、きちんと自分の意見を持っていた事です。授業終わりのご飯の時間にはよく熱い議論を交わしており、日本では見たことのない初めての光景に刺激を受けました。他人と違う意見を持っていても遠慮せずにつけ合って、お互いに認め合う文化は日本ではまだ控えめに思えますが、とても素敵だし必要なものだと感じました。

と感じました。

今後は、この留学で得ることができた言語能力はもちろん、新たな事に挑戦する力を生かして失敗することを恐れずに、行動に移せていなかった事、興味のある事に積極的に取り組んでいきます。まず自分の意見を持つことから始め、他人と違っていたり上手く表現できたりしなくても、意見を伝えるということ大切にしていきたいです。また、留学をした事で発見できた事や、色々な年代、国の人と関わって得ることができた柔軟で多角的な考え方を普段の生活や進路にうまく役立てていきたいです。

氏名：K.A (比較文化学部 比較文化学科)

研修・留学先：国立台湾師範大学 長期留学 (台湾) 2019年9月～2020年2月



私は、台湾留学を通して中国語を学んだだけでなく、台湾の文化に多く触れることができました。留学前に一度台湾に行ったことがあったのですが、その時は日本人観光客として扱われ、現地の文化に馴染む時間はありませんでした。しかし、留学生として半年間生活してみると現地の文化が自分の生活の中に染み込んでいくような感覚が得られました。始めの頃は、街の雰囲気やレトロな感じで過去にタイムスリップしたような感じがしたり、お店の会計方法が違ったり、お手洗いが違ったりと生活スタイルが意外と日本人と似ていなかったのが、戸惑いがありました。ところが、周りの台湾人の温かさや優しさに触れていくうちに、自分の生活スタイルを工夫しながら過ごすことができました。留学という経験は当然初めて

でしたが、親と離れて半年間他人と生活するというのも初めてで不安を抱えながら台湾に行きました。今まで、家事全般は親に任せていたので洗濯をしたり、食事のことを考えたり、お金の管理だったり生活していくことの難しさを身をもって感じました。しかし、この経験のおかげで帰国後は積極的に家の仕事に関わったり、両親に感謝したりする機会が多くなったと思います。

また、中国語のクラスにはアジアを中心とした外国人が在籍しており、台湾だけでなく他の国の文化について学ぶ機会が多かったように感じます。特に、アジアに住んでいる人は日本への関心が高く、「日本ってこういう国って聞いてるけど実際どうなの?」とか「日本のアニメ文化は素晴らしいよね」といった声を沢山もらいました。日本にいと、日本がどう見られて



いるかという客観的な意見は耳にすることが少ないので、貴重な経験となりましたし、日本についてもっと知っておくべきだったとも思いました。

現在は、新型コロナウイルスの影響で留学に行けない状況が続いていると思いますが、行けるようになった際は、語学だけでなく多くのことに触れて貴重な体験を沢山してもらいたいと思います。

氏名：M.R (比較文化学部 比較文化学科)

研修・留学先：オックスフォード大学ハートフォードカレッジ大学 長期留学 (イギリス)

2019年9月～2020年2月



私が留学先として、イギリス・オックスフォード大学を選んだ理由は、世界中から集まる先生や生徒から、多様な文化や習慣といった価値観に触れることができると考えたためだ。さらに、私の興味関心のある分野が、移民や難民といったヨーロッパが広く携わっていた問題、また、イギリスが残留・離脱に揺れたヨーロッパ連合、EUについてであったからである。

オックスフォードでの授業が始まり、まず驚いたのは授業体制である。少人数授業で、ひとりひとりが意見を発することで成立する。今まで、日本の学習では大人数で先生による講義を「受講する」という体制が主流であった。しかし、オックスフォードでは、合っているとか間違っているというのではなく、事柄に対する問題をテンポよくいくつも挙げることで、生徒同士で自分の意見を話し合うことによって成立する「コミュニケーション型」の授業であった。もともと自分の考えを発言することが苦手な私にとって当初は自信をなくすこともあった。しかし、少しずつ発言を増やすことで、自分でも話せるようになっていくという実感も持て、授業により楽しく参加できた。また、週に一度は担当の先生と2人で話す時間があり、意見をくみ取ったうえで、それぞれの興味関心分野に即したテーマが授業で設定される。自分の興味のある分野について深掘りもでき、大変面白いものであった。さらに、この留学プログラム中は、何度も自分たちでプレゼンテーションするという授業があった。苦戦したが、繰り返すうちに、人を引き込むためにはいかに自分が楽しむか、聞き手を意識して作成するのか、少しずつ、大切なことが見えてきた。わかりやすく人に伝えるという課題は社会人になっても重要なポイントであり、これを学べたことはとても有意義であった。

授業外の生活として、最も印象的であったのは、あらゆる国からオックスフォードに学びにきた学生や社会人との交流である。彼らのほとんどは日本語を独学や専門で学ぶ人であったが、コミュニティの集まりで日本語を教えたあとは、現地で談笑することがほとんどであった。古くからイギリスの作家が知識や作品をパブで交流したように、あらゆるパブを一緒に訪れた。現地の文化を実際に深く学びながら、共に意見を交わす場は日本では味わったことのない、非日常の豊かなものであった。彼らとの出会いは、確実に私たちの生活を特別なものとしてくれた。

イギリス・オックスフォードでの生活では様々な場所で多くの刺激を受けた。そこで学んだことは数えきれない。貴重な留学で学んだ、主体的に取り組むこと、継続的に努力すること、挑戦すること、意見を述べること、傾聴すること、視野を広く持つこと、知見を深めることなど、今後のゼミ活動や、就職活動、また社会人として生きていくにあたり、あらゆることにいかしていきたい。





## 安全と危機管理

### 1. 留学前の準備

#### ①留学国・地域の選択と情報収集

留学国・地域の治安情勢、犯罪傾向、衛生状況、医療情報、風俗、習慣、現地の法令・法律などの情報収集は大変重要です。以下のサイト等で最新の情報収集を行ってください。



外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

電話：外務省領事サービスセンター（海外安全担当） 03-5501-8162

利用時間 9：00-17：00（外務省閉庁日を除く）



外務省海外安全ホームページ「海外安全虎の巻」

<https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>



外務省「世界の医療事情」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>



厚生労働省検疫所FORTH「海外で健康に過ごすために」

<https://www.forth.go.jp/>

#### ②海外旅行保険と危機管理プログラム

海外旅行保険への加入は海外で自身の身を守るため必ず行ってください。なおクレジットカード付帯の保険は保証内容に制限があることや、全ての手続きを代理店ではなく自分で行わなければならないなど、お薦めできません。

危機管理プログラムは危機管理会社が、学生・保護者・派遣元および派遣先大学・保険会社を繋いで危機に備えるプログラムです。

##### ●学研災付帯海外留学保険

学研災は、全国1,096大学、約280万人の学生が加入する標準的な傷害保険です。海外に留学する場合、学研災に付帯し疾病や救援者費用と留学生賠償責任を充実させています。本学学生であれば個人の留学であっても学研災付帯海外留学保険に加入することができます。詳細は国際センター（国際交流支援グループ）までお問合せください。

##### ●安心サポートデスク（危機管理プログラム）

国際センターが主催するプログラムに参加する場合には、必ずアイラック安心サポートデスクに加入することになっています。留学中に緊急事態や深刻なトラブルに巻き込まれた場合に、24時間365日利用できる緊急支援窓口を提供します。

### 2. 派遣前・派遣中のプログラム中止や帰国勧告について

外務省では、上記「海外安全ホームページ<https://www.anzen.mofa.go.jp/>」で、各国・地域の最新の治安情勢を以下のように4段階に大別しております。本学では、出発時や留学中に以下の勧告が出ている地域への留学は、渡航を延期、もしくは留学の中止および帰国勧告を検討する場合があります。

##### ●『レベル1：十分注意してください』

その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。

##### ●『レベル2：不要不急の渡航は止めてください』

その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。

##### ●『レベル3：渡航は止めてください（渡航中止勧告）』

その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。（場合によっては、現地に滞在し



ている日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。)

●『レベル4：退避してください。渡航は止めてください（退避勧告）』

その国・地域へ滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。

### 3. 留学中の備え

留学中の所在を常に明らかにするため、日本大使館または総領事館に必ず「在留届」の提出や外務省への「たびレジ」登録を行って下さい。自然災害や事件・事故、テロなど万が一の事態が起きた場合に大使館・領事館から救援活動や緊急連絡、情報提供を受けることができます。

#### ①在留届

旅券法第16条により、外国に住所又は居所を定めて3か月以上滞在する日本人は、その住所又は居所を管轄する日本の大使館又は総領事館（在外公館）に「在留届」を提出するよう義務付けられています。



在留届電子届出システム

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

#### ②「たびレジ」

3ヶ月未満の滞在の場合は「たびレジ」に登録します。滞在先の最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メール、緊急連絡などが受け取れるシステムです。



「たびレジ」

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

◎海外での予期しないトラブルに巻き込まれた時に解決するのは自分自身です。上記の対策をした上で、自らの責任で対処できる主体性のある学生であることが求められます。

## 受け入れ留学生について

### 《国際センター所属留学生》

大学間交流協定に基づき、所属する大学に在籍しつつ概ね半年から1年間滞在する交換留学生および招致留学生を受け入れ、日本語や日本文化を学修するための「日本語・日本事情」などの講座を国際センターが開設しています。

### ■国際センター所属留学生受け入れ数

大学	2018年度	2019年度	2020年度	合計
明知大学校（韓国）	2	3	0	5
国民大学校（韓国）	1	0	0	1
雲南大学（中国）	0	5	0	5
合計	3	8	0	11

※2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、国際センターでは、新たな留学生の受け入れを行いませんでした。



《外国人正規留学生》

大学・短期大学部の各学部や大学院に所属し、本学学生と一緒に授業を受けています。

■外国人正規留学生受け入れ数

2020年度

国・地域	正規留学生				合計
	大学	短期大学部	大学院 (修士課程)	大学院 (博士課程)	
中国	4	0	1	1	6
台湾	0	0	1	0	1
韓国	1	0	0	0	1
ベトナム	2	0	0	0	2
合計	7	0	2	1	10

2019年度

国・地域	正規留学生				合計
	大学	短期大学部	大学院 (修士課程)	大学院 (博士課程)	
中国	5	1	0	1	7
台湾	0	0	1	0	1
韓国	2	0	0	0	2
ベトナム	2	0	0	0	2
合計	9	1	1	1	12

2018年度

国・地域	正規留学生				合計
	大学	短期大学部	大学院 (修士課程)	大学院 (博士課程)	
中国	3	1	2	1	7
台湾	0	0	1	0	1
韓国	2	0	0	0	2
ベトナム	1	0	0	0	1
合計	6	1	3	1	11



## 《本学学生との交流》

国際センターでは大妻女子大学で学ぶすべての留学生と本学学生との交流推進のために留学生交流会などのイベントを実施しています。



## 留学支援講座・国際交流イベント

### 留学支援講座

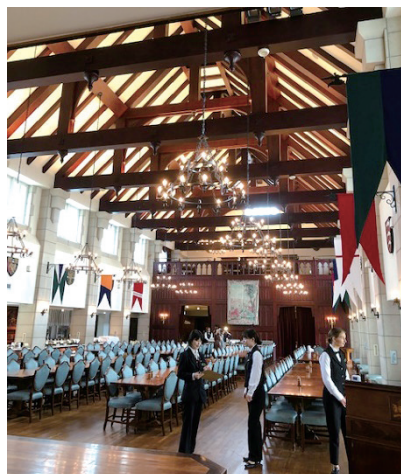
国際センターでは、留学そのものがより意義深いものとなるよう、事前・事後の研修としてさまざまな留学支援講座を開設しています。学生自身の語学力の把握、留学への目的意識の明確化、異文化への対応力養成、留学経験を活かしたキャリア形成などについて学ぶ機会を提供しています。

留学支援講座は、学内の国際化の意識・意欲を喚起するため、広く学生一般に開放しています。

#### 〈国内留学体験〉

##### ◇ British Hills イギリス文化・英語研修

国内の英語研修施設にて行う、3泊4日の国内留学体験です。



##### ◇ フィリピン・クラスライブオンライン英語研修 (ESL)

フィリピンの英会話学校が提供する6週間のオンライン英語集中研修です。

#### 〈国際交流・国際理解〉

##### ◇ シンポジウム『多様性と大学と社会 ～知の創造に向けた多様性理解の推進～』

多様性社会を生き抜くために大事なこと、女性リーダーとして多様性社会を生き抜く秘訣など、ヒントを得られるようなシンポジウムです（2020年度はオンラインで開催）。

##### ◇ オンデマンド・オンライン映画配信

2020年度は、日本も含めた地球規模の課題であるSDGsに関するテーマを中心にした映画を無料でオンライン配信しました。

##### ◇ 国際センター講演企画

大使館職員を招いての講演会を開催（フランス大使館職員予定）

#### 〈留学準備〉

##### ◇ 危機管理オリエンテーション

海外での安全に関する一般的な心構えとともに、各研修先の国・地域に特化した危険情報・事例（事件事故、感染症、テロ等）の紹介およびその対処法を学びます。

##### ◇ 女性向け危機管理オリエンテーション

女性が特に気をつけるべき事柄、危険情報、事例の紹介およびその対処法を学びます。

##### ◇ トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム支援

官民協働で取り組む海外留学支援制度への申請を支援しています。

##### ◇ 国際センター紹介、留学準備講座

国際センターの活動や、留学プログラムについての情報を提供しています。



## ■国際交流イベント

国外からの留学生と本学学生の交流推進を図ります。

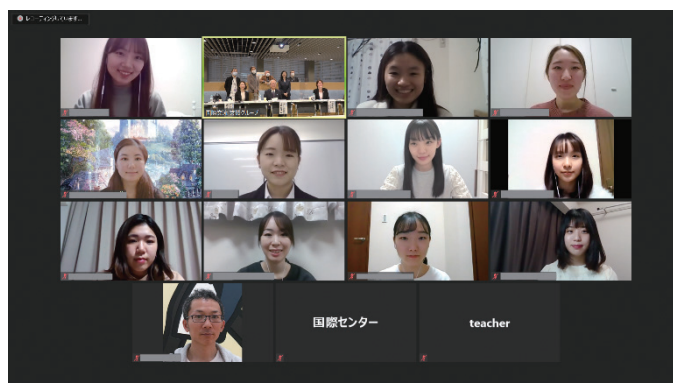
### ◇ 留学生交流会

留学生と一緒に食事やゲームを楽しむことができます。



### ◇ 留学生・日本人学生による日本語・英語スピーチコンテスト

留学生による日本語のスピーチ、日本人学生による英語のスピーチを行います。



2020年度はオンラインで開催

※2021年度実施予定の概要ですが、状況によっては実施しない場合があります。



## 国際センター専任教員紹介

### 趙 方任 先生（中国語圏担当、日本事情科目担当）

大妻女子大学国際センター教授の趙方任です。

1970年中国東北の吉林市生まれ。北京大学中文科卒業後、新聞記者・編集者を経て、1996年来日。東京学芸大学で教育学修士、東京都立大学で文学博士。専攻は中国語教育・中国古典文学・茶文化。

著書に「唐宋茶詩輯注」「日中茶道逸話」「茶詩に見える中国茶文化の変遷」「実用ビジネス中国語」「中国文化講座」「HSK対策ソフト」などがあり、「中国式離婚」など翻訳・論文も多数。

今まで、儒家思想、東アジア文化論、中国古典文化、中国語などの科目を教えてきたとともに、国際交流活動にも数多く携えてきました。国際センターで皆さんが異文化体験をよりスムーズにできるようにベストを尽くしたいと思います。



### 伊藤 みちる 先生（英語圏担当、日本語科目担当）

国際センター准教授の伊藤みちるです。

私は中学・高校・大学と10年間を大妻で過ごした生粋の大妻生です。

大学生の時にはバックパックを背負って世界中を旅しました。大妻女子大学を卒業した1ヵ月後に日本を出て、その後15年間にわたり政府系機関や国際機関に所属し、海外で、高等教育機関での日本語教育・国際協力・社会経済開発の分野における業務や研究に従事してきました。その間、奨学金を得てイギリスの大学院に2回留学し、国際関係学と社会学の二つの修士号を取得しました。

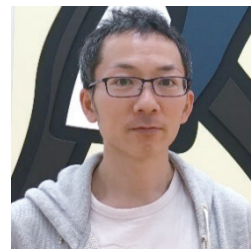


見た目も常識も考え方も異なる世界中の人たちと自分との違いを尊重し思いやり、校訓「恥を知れ」のとおり自分を律し、広い世界に飛び込んでいってください。母校の後輩たちに異文化体験や将来に向けた進路決定についてお手伝いできたら幸いです。

### 森 功次 先生（フランス語圏担当、日本事情科目担当）

国際センター専任講師の森功次です。

1981年福岡生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程単位取得退学（2015年博士号（文学）取得）。専門は美学・芸術哲学。共著に『ワードマップ現代現象学』（新曜社、2017年）。訳書にロバート・ステッカー『分析美学入門』（勁草書房、2013年）、ケンダル・ウォルトン「フィクションを怖がる」（西村清和編『分析美学入門』所収、勁草書房、2015年）、ケンダル・ウォルトン「芸術のカテゴリー」（電子出版物、2015年）、ノエル・キャロル『批評について：芸術批評の哲学』（勁草書房、2017年）など。



他国の文化を理解するには、自国の文化とどこが似ていてどこが違っているかを考えることが大事です。言葉の感覚を洗練させることは、そのための大事なステップになります。哲学・美学の視点から、学生の方々の異文化理解をお手伝いできればと思います。

## 留学お役立ち情報

### 〈国別留学情報〉

#### アメリカンセンターJapan

東京、札幌、大阪、名古屋、福岡のアメリカンセンターではアドバイザーに相談ができます（訪問の際には事前予約が必要）。電話やEメールでの相談も行っています。

(<https://americancenterjapan.com/>)

#### 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）

日米教育委員会は日米両政府からの拠出金により運営され、日米の人物交流による相互理解の促進を目的に、フルブライト奨学金事業、アメリカ留学に関する相談サービス事業を行っています。( <https://www.fulbright.jp/> )



#### 駐日カナダ大使館（カナダ留学）

大学・大学院留学や英語・フランス語語学研修などカナダ留学の概要を載せています。留学フェアや説明会の案内もあります。(https://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/study-etudie/index.aspx?lang=jpn)



#### オーストラリア政府公式留学情報ウェブサイト—Study in Australia

教育システム、中・高校、語学学校、専門学校、大学などの留学情報、学校検索、奨学金情報などを網羅しています。(https://www.studyinaustralia.gov.au/japanese)



#### ニュージーランド政府公式留学情報ウェブサイト—Education New Zealand

教育システム、中・高校、語学学校、専門学校、大学などの留学情報、学校検索、奨学金情報などを網羅しています。(https://www.studyinnewzealand.govt.nz/jp)



#### Study in Korea

韓国の公式留学サイト。韓国の教育情報、留学案内、大学情報、生活情報などを提供。コミュニティーの欄にはオンライン留学相談室の案内もあります。オンライン・エデュケーションフェアも行っています。(http://www.studyinkorea.go.kr/ja/main.do)



#### ブリティッシュ・カウンシル

ブリティッシュ・カウンシルは英国（イギリス）の公的な国際文化交流機関であり、各国における英語の普及やイギリスと諸外国の間の教育・文化交流を目的としています。(https://www.britishcouncil.jp/)



#### ドイツ学術交流会（DAAD日本）

DAAD（ドイツ学術交流会）の日本語サイト。ドイツへの留学全般に関する情報を提供しています。奨学金検索もできます。(https://www.daad.jp/ja/)



#### Campus France フランス政府留学局・日本支局

フランスの高等教育機関への留学を促進するためのフランス政府による留学情報ウェブサイト。奨学金と教育機関の検索エンジンもあります。(https://www.japon.campusfrance.org/ja)

### 〈奨学金に関する情報〉



#### 日本学生支援機構ウェブサイト「海外留学支援サイト」

公的機関である日本学生支援機構（JASSO）が運営する海外留学を考える方への情報サイトです。(http://ryugaku.jasso.go.jp/)



#### 日本学生支援機構「海外留学のための奨学金」

日本学生支援機構、外国政府、地方自治体、民間団体などによる海外留学奨学金情報を掲載しています。(http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/)



#### 「海外留学奨学金パンフレット」

海外留学希望者を対象とした奨学金のリストを掲載しています。(http://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet/)

## 〈語学試験情報〉

### TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)

英語圏の大学等高等教育機関、一部高校への留学希望者を対象とした英語能力試験。



〈実施機関〉 ETS (Educational Testing Service)

(<http://www.ets.org/toefl>)



〈国内問合せ先〉 国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部

(<https://www.cieej.or.jp/>)



TOEFL iBT®

プロメトリック (株) (<http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/online.html>)

### IELTS™ (International English Language Testing System)

英語圏 (主に英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド) の大学等高等教育機関への留学希望者の英語力を評価する試験。



〈実施機関〉 IELTS (<https://www.ielts.org/>)



〈国内問合せ先〉 (公財) 日本英語検定協会 (<https://www.eiken.or.jp/ielts/>)



(一財) 日本スタディ・アブロード・ファンデーション (<https://www.jsaf-ieltsjapan.com/>)

## その他言語



HSK (漢語水平考試)

中国政府が認定する資格です。(<http://www.hskj.jp/>)



韓国語能力試験 (TOPIK)

韓国語能力試験は、大韓民国政府 (教育省) が認定・実施する唯一の韓国語 (ハングル) 試験です。(<http://www.kref.or.jp/examination>)



## 国際センターインフォメーション

### ■千代田校 国際交流支援グループ

- 《設置場所》 別館（J棟）4階J410室  
《開室日》 月曜～金曜：午前8時30分～午後4時40分  
土曜：午前8時30分～午後1時10分  
《連絡先》 〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地  
電話番号：03-5275-6310

### ■多摩校 学生・就職支援グループ

- 《設置場所》 4号館（図書館棟）1階  
《開室日》 月曜～金曜：午前8時50分～午後5時00分  
土曜：午前8時50分～午後1時30分  
《連絡先》 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1  
電話番号：042-372-9989

### ■大学ホームページ（留学・国際交流）

<https://glbc.otsuma.ac.jp/>



## 国際センターインフォメーション

### ■千代田校 国際交流支援グループ

〈設置場所〉 別館(J棟)4階J410室

〈開室日〉 月曜～金曜:午前8時30分～午後4時40分  
土曜 :午前8時30分～午後1時10分

〈連絡先〉 〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地  
電話番号 :03-5275-6310

### ■多摩校 学生・就職支援グループ

〈設置場所〉 4号館(図書館棟)1階

〈開室日〉 月曜～金曜:午前8時50分～午後5時00分  
土曜 :午前8時50分～午後1時30分

〈連絡先〉 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1  
電話番号 :042-372-9989

### ■大学ホームページ(留学・国際交流)

<https://glbc.otsuma.ac.jp/>

